

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	急性期治療論 Clinical Management of Critically ill Patients			担当 教員	山崎 和夫 (非常勤) 田中 修 (非常勤)	
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	講義	
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>(山崎) 心原性ショックと敗血症性ショックを題材にして、重症患者管理についての理解を深める。</p> <p>(田中) 手術後もしくは循環・呼吸不全や心肺停止の急性期の病態についての説明を行うと共に、その治療法についての最新の知見を教授する。</p>						
授業のキーワード		<p>(山崎) 集中治療室、ショック、多臓器不全</p> <p>(田中) 生体侵襲、ショック、心肺脳蘇生、集中治療</p>						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1回	(山崎) 集中治療室の管理と設備							
第2回								
第3回	心原性ショック：病態と治療							
第4回								
第5回	敗血症性ショック：病態と治療							
第6回								
第7回	多臓器不全：病態と治療							
第8回								
第9回	(田中) 麻酔							
第10回	ペインコントロール							
第11回	人工呼吸：各種換気法、合併症							
第12回	集中治療							
第13回	心肺脳蘇生 I							
第14回	心肺脳蘇生 II (脳保護を中心に)							
テキスト	なし							
参考文献	<p>「集中治療医学」日本集中治療医学会編集、秀潤社</p> <p>「麻酔科学スタンダード I-IV」小川節郎他編、克誠堂出版</p>							
成績評価の方法と基準	<p>(山崎) 授業の出席状況(60%)、レポート(40%)として総合的に評価する。</p> <p>(田中) 授業の出席状況(50%)と参加態度(50%)で評価する。</p>							
教員から学生へのメッセージ	<p>(山崎) 集中治療においては、はっきりした正解はない。それだけに根拠に基づく医学の観点から、医師の選択する治療法を批判的にみる眼を養って下さい。</p> <p>(田中) 本講義はショックや心肺停止の病態と、その集中治療に必要な知識の重要な部分を網羅しており、これらの基礎知識に裏付けられた看護により急性期患者のチーム医療を担っていただきたい。</p>							